

令和5年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立東調布第三小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・学習問題を追究、解決する学習を取り入れ、自分の課題を解決するための方法や計画を考えさせた。その結果、学習に意欲的に取り組むことができた。
- ・社会的な事象の特色や相互の関連、意味を考える時間を確保したことにより、基本的な資料の読み取り方が定着してきた。
- ・社会科見学やゲストティーチャーを招いての授業など、実際に見たり聞いたりすることで、知識の定着や興味関心の広がりが見られた。

(2) 課題

- ・学習課題を追究、解決する学習では、何をどのように調べたらよいか、戸惑う児童が見られる。協働して解決する力は向上しているが、自力解決する力を付けていく必要がある。
- ・複数の資料から適切に情報を読み取ることや、考えを言葉で表現することについて、苦手とする児童が見られる。調べた内容を友達に説明したり、文章でまとめたりする力を高めていく必要がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和4年度結果	令和3年度結果	令和2年度結果
第4学年	全国平均を 1.1割下回った	/	/
第5学年	全国平均を 10.6割上回った	全国平均を 4.5割上回った (第4学年時)	/
第6学年	全国平均を 0.7割上回った	全国平均を 1.7割上回った (第5学年時)	全国平均を 2.7割上回った (第4学年時)

(2) 分析（観点別）

① 第4学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を1.9割下回った。設問別にみると、どの単元も、写真やグラフ、表の資料から、仕事内容や数値などの情報を正確に読み取ることに課題があると言える。	目標値を4.0割上回った。設問別にみると、「市の様子の変化」について、事象を資料と関連付けて、グラフや年表から変化を読み取る問題で目標値を下回った。	目標値を6.6割上回った。一方で、単元によって数値に差があり、「地域や市の様子」「生産や販売」など、生活と結び付く単元については、上回っている。

② 第5学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を10.3割上回った。一方で、「生活環境を支える活動」に関する問題で、ダム建設理由やごみの分別について理解を確認する問題が目標値を下回る結果となった。	目標値を11.0割上回った。全ての設問において、目標値を上回るか、目標値に近い値になった。一方で、人口について地形の様子と関連付けて考える記述問題では、目標値に近い値になった。	目標値を13.3割上回った。全ての設問において、目標値を大きく上回っている。しかし、記述問題では目標値に近い値になった。

③ 第6学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を1.9割上回った。一方で設問別にみると日本の主な地形の名称と位置について理解を確認する問題が目標値を下回った。	目標値を0.1割上回った。設問別にみるとさいばい漁業の利点について資料をもとに考える問題で目標値を下回った。	目標値を5.0割上回った。設問別に見ると、自動車工場を支える関連工場の役割について、資料をもとに考え短い文で答える問題で目標値に近い値になったり、目標値を下回ったりした。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 新しい地図記号などを常掲したり、地図帳で調べられるようにしたりして、日常から活用していく習慣を身に付けられるようにする。 調査活動や地図帳などの具体的な資料を通して、必要な情報を調べまとめる活動を取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> 地図や統計資料、写真、新聞記事などを効果的に用いる学習を進め、資料を読み取る力の向上を図る。 資料を見て数値の増減や年表の出来事をノートや新聞にまとめ、発表につなげる学習活動を繰り返し行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 子供たちの学習意欲が高まる学習問題の設定を行う。 社会科見学やゲストティーチャーを招いての授業など、体験・実感を伴う学習活動を取り入れる。 地図記号や方位について正しく理解したり、調べたことを表現しようとしたりする態度を養う。

(2) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 世界地図や日本地図を常掲したり、調べ学習に地図帳を活用したりすることで、地図から正しい情報を読み取り、国や地域の地理的な特徴を把握する機会を増やす。 地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の資料を通して、情報を適切に調べ、まとめる活動を取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> グラフや資料、新聞記事などに触れる機会を増やす。数値の増減や差に気付くだけでなく、その要因や背景について考えを深められるようにして、多角的に物事を捉える力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会科見学やゲストティーチャーを招いての授業など、体験・実感を伴う学習活動を取り入れる。 考えたことを文章で表現したり、多様な考えが出る学習問題に取り組んだりする。社会生活に生かせる場面を設定し、関心を高める。

4 重点指導事項

- 調査活動や地図帳などの具体的資料を活用して、必要な情報を調べ、まとめる活動を取り入れる。
(知識・技能)
- 資料を見て数値の増減や年表の出来事をノートや新聞にまとめ、発表につなげる学習活動を繰り返し行う。
(思考・判断・表現)
- 体験的な学習活動や、学習したことを振り返ったり、社会生活に生かそうとしたりする活動を取り入れる。
(主体的に学習に取り組む態度)